

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	トゥルース・ツアー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.530	ΔRG	0.038	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：トゥルース・ツアー

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

研磨剤

番

比較対照ボール：トゥルース・パール

フレアーの幅 インチ

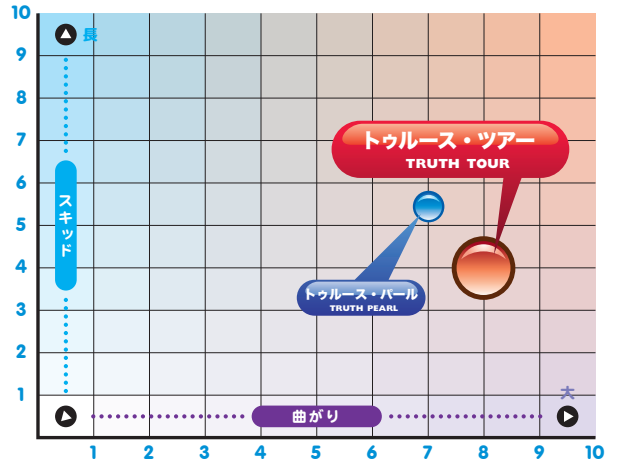
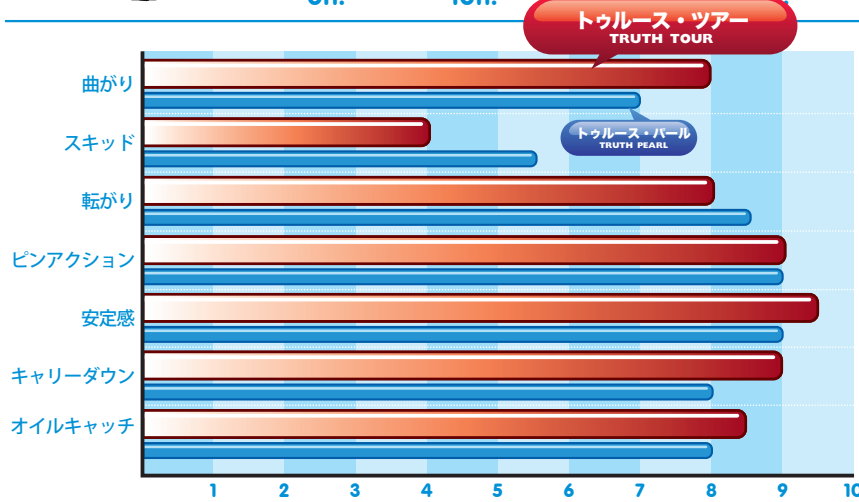
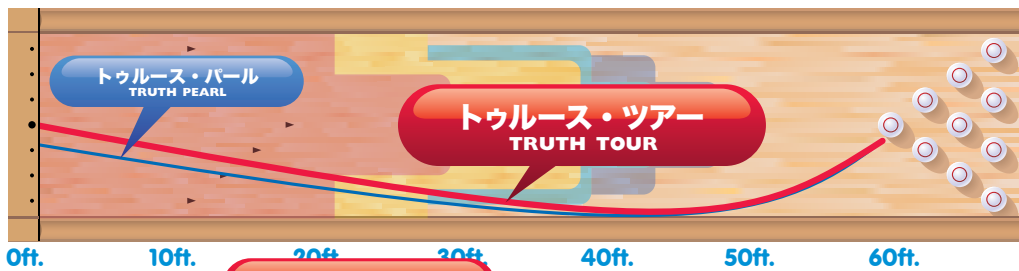
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

研磨剤

番



ボールの評価

900Global社の中でINCEPTIONに並ぶTRUTHシリーズ。Adaptor/DのAsymmetric(非対称) core、Adaptor/CのSymmetric(対称)CoreでRG、ΔRGは変えずにマスバイアスの要素を組み込んだ画期的なコアテクノロジー。今回発売されるTRUTH TOURは、S78R Solid CoverstockとAdaptor/C LD(Low Differential)、ICE "E" 3,000Gritと新しく追加されたさまざまなテクノロジー満載のボールと言えます。

まず初搭載のCoverstockはINCEPTION DCTのS86RとINCEPTION PEARLのS74Rのちょうど中間にあたるS78RのSolid Reactive。Adaptor/CのLD(Low Differential)のコアは2.48、0.055であるAdaptor/CコアをModify(比重変更)され2.53、0.038までシェイプされました。あとからなぜコアの数値が変更されたのか知ることになりますが、非常に計算された作りという印象が投球してわかりました。まずテストングで感じた第一印象は、「しなやかな転がりと持続性の曲がり」であること。かなりのオイル量まで投げられるであろうBox FinishではICE PADの"C"の3,000Grit相当ですが、オイルの薄さには早く噛み上がるほど相応のオイル量を必要としています。カバーストックがかなり強めに出るがために、初期Adaptor/Cの設定だと軸移動が強過ぎて曲り終わるであろう懸念からLD(Low Differential)になったであろうことは容易に想像できるほど、LDコア設定でも十分なくらいレーンの中盤から見事に持続的な強い曲りを得ることが出来ます。派手さはないものの転がり感と曲りの安定度は類をみないほどレベルは高いです。ボールをコントロールするレベルではトーナメント用ですし、スポーティーなコンディションになるほどコンディションによるリアクションの差を軽減してくれるでしょう。投げている高いレベルでのボールコントロールは競技者には欠かせないボールと言えるでしょう。

特記事項

S78 Solidは新しいカバーストック配合。比重を変更し、高いRGと中間よりやや低めのΔRGを持ったAdaptor/Cコアはスポーツコンディションにも適しており、ミッドからバックエンドにかけて安定したパフォーマンスが得られます。